

## 授業科目

## 解剖学

担当教員名 鈴木 了	対象学年	1	対象学科	臨床
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	3	時間数	45

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○			○

## 授業の概要

人体の基本的構造を肉眼的レベルから顕微鏡レベル（特に光学顕微鏡レベル）で理解する。

## 授業の目的

医学の基礎である解剖学を、人体の基本的構造と機能、発生の観点から理解し、それを説明できる様習熟する。

## 学習目標

1. 解剖学（肉眼解剖学、顕微鏡解剖学、発生学）とは何かを説明できる。
2. 組織を構成する細胞の名称とその簡単な機能について説明できる。
3. 人体の各系の臓器・器官について、肉眼的な配置、名称を説明できる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	解剖学序論（肉眼解剖学、顕微鏡解剖学、発生学について概説）	講義	鈴木 了
2-4	細胞・組織の基本構造	講義	鈴木 了
5-6	骨格系の解剖	講義	鈴木 了
7-8	筋系の解剖	講義	鈴木 了
9-10	消化器系、吸器系の解剖	講義	鈴木 了
11-12	脈管系の解剖	講義	鈴木 了
13-15	泌尿生殖器系、内分泌系の解剖	講義	鈴木 了
16-17	神経系（末梢神経）の解剖	講義	鈴木 了
18	神経系（感覚器）系の解剖	講義	鈴木 了
19-20	神経系（中枢神経）の解剖	講義	鈴木 了
21-23	発生学	講義	鈴木 了

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	入門人体解剖学 改訂第5版	藤田恒夫	南江堂	2012年	5,000円＋税	
	組織学総論-細胞・組織の基礎から病態の理解へ-	穂田真澄	東京農工大学出版会	2010年	2,000円＋税	
参考書	ラングマン人体発生学 第10版	T.W.Sadler、安田 峯生 訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2010年	8,820円	
	解剖学アトラス 原著第10版	Platzer Fritsch、Kuhnel Kahle、平田幸男 訳	文光堂	2012年	10,500円	
その他の資料	講義資料の配布					

## 評価方法

小テスト40%、定期試験60%にて評価

## 履修上の留意点

講義は進行状況等により内容が前後する事があります。  
「生体」を理解する上で解剖学（構造）と生理学（機能）は基礎となるので、双方の教科書を常に脇に置きながら履修し、相互連携して理解を図り、また発生学を通じて身体の構造、成り立ちを総合的に理解することを目的とします。  
そのため短期間で広範囲を勉強します。欠席をせず、必ず予習、復習することが重要です。  
なお参考書（発生学、解剖学）は非常に高価です。無理に購入せず、図書館等を有効に活用してください。

## オフィスアワー・連絡先

- 昼休み（12：30～13：00）
- その他在室時で対応可能な場合
- ※E217まで来て下さい